

警 察 署 協 議 会 議 事 録

協 議 会 名	令和4年第3回宮城県大河原警察署協議会
開 催 日 時	令和 4 年 1 2 月 2 日（金） 午後 2 時 3 0 分から 午後 3 時 2 5 分まで
開 催 場 所	大河原警察署大会議室
出 席 者 等	1 協議会委員 ・ 出席委員～國分英敏会長、木幡信子副会長、村上弘毅委員 渡邊一郎委員、佐々木由美子委員、丹羽幸子委員 ・ 欠 員～1名 2 警察署側 署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長 刑事課長、交通課長、警備課長、被害者支援係長
議 事 概 要	別紙のとおり

議事概要	1 報告事項 (1) 沼辺駐在所の廃止について 当署沼辺駐在所については、庁舎の老朽化が進み、かつ、警察署庁舎と近距離にあることなどから、来春、村田駐在所に統合する予定である。 なお、駐在所施設は直ちに解体せず、当面は連絡所として運用する予定である。 (2) 大河原警察署速度取締り指針の策定 当署管内における過去3年の交通事故の特徴は、午前7時から午前11時、午後4時から午後7時に集中して発生している。 また、交通事故は、国道4号、県道亘理大河原川崎線、県道白石柴田線で多発している。 主な原因は、安全不確認、前方不注視、動静不注視の順で多く、ドライバーの緊張感の欠如が原因と考えられる。 速度違反以外の取締りや警戒活動として、 ・ 国道4号等主要幹線道路での交通事故を減らすため、パトカーでの警戒活動を強化 ・ 大河原町や柴田町の横断歩行者が多い地域では、横断歩行者妨害違反などの取締りを強化 ・ 交差点及び交差点付近での事故が多発しているため、信号無視や一時不停止違反などの取締り を行うこととしている。 (3) 違法駐車取締り活動方針について 当署では、重点路線を ・ 県道白石柴田線の船岡城址公園前交差点から船岡東原前交差点までの間 ・ 県道亘理大河原川崎線の国道4号宮城ヤンマー前交差点から柴田農林高校前交差点までの間 とし、重点地域を ・ 船岡駅南側を中心とした地域 ・ 大河原駅西側を中心とした地域 としている。 この活動方針については、今後も管内の交通情勢を的確に把握して、 ・ 大型店舗の開店や道路の新設等による交通流量の変化 ・ 違法駐車が一因となる交通事故や交通渋滞の発生状況などを踏まえ、安全で円滑な交通環境の整備に努めていく所存で
------	--

ある。

(4) 大河原警察署管内の治安情勢について(令和4年10月末現在)

ア 刑法犯認知件数

発生件数 287件(前年同期比+49件)

検挙件数 72件(前年同期比-2件)

イ 特殊詐欺発生状況

発生件数 11件(前年同期比+5件)

架空料金請求詐欺 9件(前年同期比+4件)

その他 2件(前年同期比+1件)

※「その他」は、被疑者が被害者宅を訪問してキャッシュカードを盗む手口のもの

被害金額 543万1,600円(前年同期比+436万8,600円)

※被害金額は、全て架空料金請求詐欺被害によるもの

ウ 交通事故発生状況

人身事故 120件(前年同期比+3件)

死者数 0名(前年同期比-3名)

負傷者数 159名(前年同期比+12名)

物件事故 1351件(前年同期比-51件)

(5) 取組状況について

ア 警察官採用活動

将来に向けた人的基盤の充実・強化を図るため、管内の学生等に対し、職場見学や採用説明会等を定期的に開催している。

イ 犯罪被害者等支援の広報活動

管内の保育園児に対し「けんちゃんのアサガオ」による犯罪被害者等支援の広報活動を実施している。

ウ タクシー会社各社との協定締結「名称KOSM(コスモ)」

地域の犯罪被害防止や交通の安全確保を警察署とともに推進していくことを目的に柴田郡に事務所を置くタクシー会社8社と

- ・ 特殊詐欺被疑者検挙のための通報体制
- ・ 業務をしながらの、犯罪抑止、交通事故防止のための見守り活動や情報提供活動

等に関して協定を締結した。

エ 秋の交通安全県民総ぐるみ運動期間中の各種活動

9月21日(水)から同30日(金)までの期間中、警察署員による出発式を始め、管内において、交通事故防止・自転車安全利用キャンペーン等を実施。

オ 「大規模災害発生時における施設使用に関する協定」締結

大規模災害発生時、大河原警察署の庁舎に災害警備本部等を

設置することが困難と認められる場合に備え、村田町が所有する施設「道の駅村田・村田町物産交流センター」の一部を使用することに関して村田町と協定を締結した。

カ 年末・年始特別警戒

令和4年12月15日（木）から令和5年1月7日（土）までの間、防犯・交通関係団体との協働による警戒を行うとともにパトカーによる警戒の強化を行う。

2 協議事項（意見要望等）

【委員】

柴田町内の船迫2号地下道の安全対策について、暗くて利用者が怖いという話を耳にするが、防犯カメラ設置の可否と、児童の下校時に合わせたパトロールの可否や、今後の地下道の安全対策について教示してほしい。

【生活安全課長】

柴田町内の船迫2号地下道及びさくら歩道橋については、先日、柴田町において防犯カメラを設置したところである。

引き続き、児童の下校時に合わせたパトロールを行うとともに、関係団体と情報共有しながら、発生実態に合わせた警戒活動を継続して行っていく。

【委員】

大河原駅前交番の不在状態解消に向けた対策について教えてほしい。

【地域課長】

JR大河原駅前に所在する交番であるため、平日の日中時間帯は交番相談員を配置して各種届出を受理できる体制の確立に努めている。

また、これらに加え、警察署に直通の緊急通報装置も設置している。

【委員】

寺院を狙った窃盗事件の被害状況や手口等を教えてほしい。

【刑事課長】

寺院狙いの窃盗事件は、宮城県沿岸地域及び仙南地域で多発傾向にあり、寺院併用住宅等のガラスを破ったり、無施錠箇所から侵入するなどして犯行に及んでいる。

防犯対策として、金庫も含めた出入口全ての施錠や不審者・車両発見時の110番通報を行ってほしい。

犯人が凶器等を持っている可能性もあるため、自身を守るためにも無理な声がけ・追跡は行わないでほしい。

【委員】

自転車の安全対策や法整備の動向について教示願いたい。

【交通課長】

自転車に対しては、

- ・ 自転車に対する交通指導取締り
- ・ 自転車の安全利用に関する広報啓発活動
- ・ 交通安全教育

等の交通事故の抑止活動を行っている。

自転車に関する法整備の動向については、本年４月に公布された「道路交通法の一部を改正する法律」により、全ての年齢層の利用者に対して、乗車用ヘルメットの着用義務が課されることとなり、公布から１年以内に施行となっている。

【委員】

管内で万引き事件が増加しているとのことだが、どのようなものか。年齢的にはどうか。

【署長】

万引きについては、以前のように少年の初発型犯罪というものだけではなく、大人によるものであったり、集団でプロ的に行う万引き等も発生している。

【委員】

兵庫県警察の事例で、点滅信号を全方向一時停止に変更したところ、交通事故が減ったとの事例があるようである。

大河原駅前や大河原町役場近くの交差点の信号機は夜間時に黄色と赤色の点滅となるが、どちらが優先か分からないような交差点では、全方向赤色点滅にしたらどうか。

【交通課長】

現在の規制では、両方向の一時停止は新しく設定できなくなっている。指摘の交差点については調査し、夜間も定周期のままでいいかどうか検討したい。

【委員】

自転車のイヤホン使用については、学生にも指導している。しかし、今のイヤホンについてはワイヤレスのものもあり、外見上非常に分かりづらい。自転車への指導に加えて、車のドラ

議事概要	イバーにも注意喚起する必要もあるのでは。 【交通課長】 委員の提案を踏まえ、今後の自動車への安全教育に反映させていきたい。 【委員】 特殊詐欺の発生が件数も金額も増加しているが、それに対する対策を教えてほしい。 【生活安全課長】 特殊詐欺の手口のうち、未払いの料金があるなどと架空の事実を口実として金銭をだまし取る、架空料金請求詐欺と呼ばれているものが増加している。 コンビニエンスストアでのデジタルギフト券購入者や銀行での高額引き落とし者への対策に加え、今回、管内のタクシー８社と締結したＫＯＳＭ（コスモ）も活用していきたい。 その他、高齢者への防犯教室やコマーシャル等を使つての広報啓発活動等の取組も行っている。 3 次回の開催予定 ・ 次回会議は、令和５年２月に開催予定
------	--